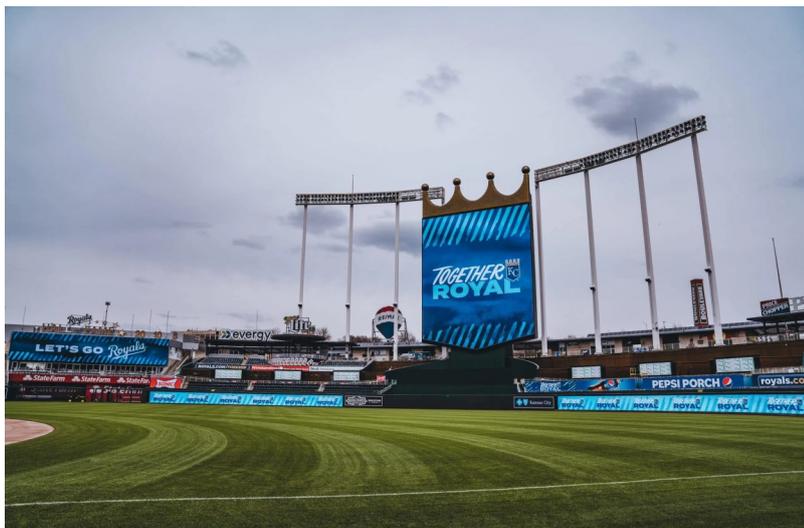


主な導入製品

■プロダクション・スイッチャー
Acuity

■リアルタイムグラフィックス
XPression Tessera

■カスタム制御ソフトウェア
DashBoard



■ ROSS Video社

カナダのオンタリオ州イロコイに本社を置くROSS Video社は、オンタリオ州オタワに研究開発施設を運営し、ニューヨーク州、英国、オーストラリア、シンガポールにオフィスを構えています。

■ 事業内容

Rossソリューションは、Eurosport、BBC World、SKY、Yahoo!、そして国際的なeスポーツ大会などの視聴者とマーケティングパートナーに感銘を与えています。ROSSは、カメラ、リアルタイムモーショングラフィックス、プロダクションスイッチャー、ロボットカメラシステム、拡張現実/パーチャルスタジオ、ビデオサーバ、インフラストラクチャとルーター、ソーシャルメディア管理、ニュースルームシステム、ライブイベント制作サービスなど、比類のない製品とサービスを提供しています。

<https://www.rossvideo.com>

Introduction

ミズーリ州カンザスシティに位置するカウフマン・スタジアムは、メジャーリーグのカンザスシティ・ロイヤルズの本拠地であり、プロスポーツ界で最も有名な大型ビジョンのひとつを備えています。

2008年に建設され、現在では象徴的なセンターに見える大型スクリーンは、球場の最も高い場所にある王冠のモチーフと、ユニークな縦長のレイアウトが特徴です。

2021年春には、HDR対応のスクリーンに交換され、大幅なアップグレードが行われました。

王冠をあしらったセンターの大型スクリーンに加え、ロイヤルズは左センターフィールドの殿堂入りディスプレイ、外野の壁に設置された2つのLEDリボンボードなど、球場内の他のLEDビジョンもアップグレードすることになりました。

The Challenge

500万以上のLEDピクセルを新しいディスプレイに搭載するため、Crown Visionとして知られるロイヤルズの制作チームは、ピクセル精度の高いコンテンツでHDR対応スクリーンを駆動するソリューションを必要としていました。

新しいHDRディスプレイの導入に伴い、Crown Visionのチームは、球場のファンに自宅での観戦よりも良い体験を提供するために、試合当日の演出を考えなおすことにしました。具体的には、ロイヤルズは野球のあらゆる統計的要素をよりダイナミックに表現し、ファンをより深く野球に引き込むことを目指しました。

The Solution

Crown Visionの目標は、会場中の新しいHDR LEDビジョンに画素精度の高いコンテンツを表示すると同時に、スクリーン上にリアルタイムでデータを表示する方法を見つけることでした。これを達成するために、Crown Visionのチームは、制作コントロールルームとLEDビジョンコントロールルームが統合されたワークフローを持つソリューションを必要としていました。

コロラド・ロッキーズ、サンディエゴ・パドレス、シンシナティ・レッズといった他のMLB球団が導入した手法を参考にしたCrown Visionグループは、Ross Sports & Live Eventsチームに協力を依頼しました。

ROSS チームはCrown Visionのチームと協力し、球場全体の演出を統一させる全体的な解決策を計画しました。

採用されたROSSソリューション

- プロダクション・スイッチャー **Acuity**
- ビデオ画像処理用 **Carbonite Ultra**
- リアルタイムグラフィックス送出用 **XPression**
- LEDディスプレイ制御用 **XPression Tessera**
- スタジアム全体をコントロールする **DashBoard**
- SNSとの連携用システム **Inception**
- HDR信号変換用 **openGear**

The Impact

制作コントロール・ルームとディスプレイ・コントロール・ソリューションを統合することで、ロイヤルズはHDRで新しいスクリーンにコンテンツを生成し、表示するための一元化されたワークフローを実現することができました。カスタマイズされたDashBoardパネルの追加により、ボタンを押すだけで会場全体を一括でコントロールできるようになりました。

HDRワークフローをサポートする技術を提供するだけでなく、Ross Videoのクリエイティブ・サービス部門であるRocket Surgeryは、スタジアムのすべてのディスプレイの全体的なデザインと、それをサポートするワークフローの作成を任せられました。デザインの一環として、Rocket SurgeryはBrushbackを開発し、ロイヤルズの大型ビジョンを統計情報で溢れたものになりました。



Brushbackは、MLBの公式統計データAPIを利用した高度な統計解析ツールで、試合中のあらゆるプレーの統計データを、そのプレーが発生した瞬間に呼び出すことができます。また、これまで他のサプライヤーでは利用できなかった新しい統計データにもアクセスが可能です。

この新しいデータに基づき、Rocket Surgeryは、ディスプレイの全体的なデザインに組み込まれたインタラクティブな球場環境に、これらの統計的情報をダイナミック表示する優れた方法を開発しました。

